

小中学校学習指導要領

「障害のある児童生徒への配慮について」を読み解く

新年度が始まって2ヶ月が経ちました。児童生徒は学校生活に慣れ、様々な表情を見せてくれる時期ではないでしょうか。初夏とは言え、急に暑さが増しています。そろそろじめじめした梅雨もやってきます。疲れがでたり体調を崩したりしやすい時期でもあります。

子供たちの日々の様子から、的確な実態把握をし、よりよい指導・支援につなげることが大切です。

今回は、小学校・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説の国語編～特別活動編に記載されている障害のある児童生徒への配慮について、各教科ごとにまとめています。

インクルーシブ教育システムの構築を目指し、生徒の自立と社会参加を推進していくためには、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校において、生徒の十分な学びを確保し、一人一人の児童生徒の障害の状態や発達の段階に応じた指導や支援を一層充実させていく必要があります。

通常の学級においても、発達障害を含む障害のある児童生徒が在籍している可能性があることを前提に、全ての教科等において、一人一人の教育的ニーズに応じたきめ細かな指導・支援ができるよう、障害種別の指導の工夫だけでなく、各教科等の学びの過程において考えられる困難さへの指導の工夫の意図、手立てを明確にすることが重要です。

今回の学習指導要領改訂では、障害のある児童生徒などの指導にあたっては、個々の児童生徒によって、見えにくさ、聞こえにくさ、道具の操作の困難さ、移動上の制約、健康面や安全面での制約、発音のしにくさ、心理的な不安定、人間関係形成の困難さ、読み書きや計算等の困難さ、注意の集中を持続することが苦手であることなど、学習活動を行う場合に生じる困難さが異なることに留意し、個々の児童生徒の困難さに応じた指導内容や指導方法を工夫することについて、各教科等において示されています。

「障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を組織的かつ計画的に行うこと」と示されています。解説にあげられている各教科ごとに児童生徒に起こりうる困難さに対する指導の工夫の意図と手立ての例を、確認してみましょう。

〈 小学校 〉

【 国 語 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●自分の立場以外の視点で考えたり他者の感情を理解したりするのが困難	※気持ちの変化を言葉で表現できるように	⇒児童の日常的生活体験に関する例文を示す ⇒行動や会話文に気持ちが込められていることに気付かせる ⇒気持ちの移り変わりが分かる文章の中でキーワードを示す ⇒図や矢印などで視覚的に分かるよ

		うに示す
●文章を目で追いながら音読することが困難	※自分がどこを読むのかが分かるように	⇒教科書の文を指等で押さえながら読むように促す ⇒見えやすいように行間を空けるために拡大コピーをしたものを用意する ⇒語のまとまりや区切りが分かるように分かち書きされたものを用意する ⇒読む部分だけが見える自助具（スリット等）を活用する
●声を出して発表することに困難 ●人前で話すことへの不安を抱いている	※自分の考えを表すことに対する自信が持てるように	⇒紙やホワイトボードに書いた物を提示する ⇒ICT機器を活用して発表させる ⇒多様な表現方法が選択できるように工夫をする

【 社会 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●地図等の資料から必要な情報を見つけ出すことや読み取ることが困難	※掲載されている情報を精選し、視点を明確にできるように	⇒地図等の情報を拡大する ⇒見る範囲を限定する
●社会事情に興味・関心がもてない	※社会的事象の意味を理解しやすくするため、社会の営みと身近な生活がつながっていることを実感できるように	⇒特別活動などとの関連付けなどを通して、具体的な体験や作業を取り入れる ⇒学習の順序を分かりやすく説明する ⇒安心して学習できるよう配慮する
●学習問題に気付くことが難しい ●予想を立てることが困難 ●情報収集や考察、まとめの場面において、考える際の視点が定まらない	※社会的事象を読みとりやすくできるように ※学習順序を考えられるように	⇒写真などの資料や発問を工夫する ⇒見通しがもてるようヒントになる事実をカード等に整理して示す ⇒見本を示したワークシートを作成するなどの指導の工夫をする

【 算 数 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●文章を読み取り、数量の関係を式を用いて表すことが難しい	※数量の関係をイメージできるように ※解決に必要な情報に注目できるように	⇒児童の経験に基づいた場面や興味ある題材を取り上げる ⇒場面を具体物を用いて動作化させる ⇒文章を一部分ごとに示したり図式化したりする
●空間図形のもつ性質を理解することが難しい	※空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように	⇒立体模型で特徴のある部分を触らせるなどし、言葉でその特徴を説明させる ⇒見取図や展開図と見比べて位置関係を把握するなどの工夫をする
●「商」「等しい」など、児童が日常使用することが少なく、抽象度の高い言葉の理解が困難	※児童が具体的なイメージをもつことができるように	⇒児童の興味・関心や生活経験に関連の深い題材を取り上げて、既習の言葉や分かる言葉に置き換える
●データを目的に応じてグラフに表すことが困難	※目的に応じた、よりよいグラフの表し方があることを理解できるように	⇒同じデータについて折れ線グラフの縦軸の幅を変えたグラフに表す ⇒同じデータを棒グラフや折れ線グラフ、帯グラフなど違うグラフに表して見比べる

【 理 科 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難 ●見通しがもてず、学習活動に参加することが困難	※学習の見通しがもてるように	⇒実験の目的を明示する ⇒実験の手順や方法を視覚的に表したプリント等を提示したり、配布したりする
●燃焼実験のように危険を伴う学習活動において、危険に気付きにくい ●自然の事物・現象		⇒教師が確実に様子を把握できる場所で活動させる

を観察する活動において、時間をかけて観察をすることが困難		⇒観察するポイントを示す ⇒ICT教材を活用する
------------------------------	--	-----------------------------

【 音楽 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●音楽を形づくっている要素(リズム, 速度, 旋律, 強弱, 反復等)の聴き取りが難しい	※要素に着目しやすくできるように	⇒音楽に合わせて一緒に拍を売ったり, 体を動かしたりし, 要素の表れ方を視覚化, 動作化する ⇒決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する
●多くの声部が並列している楽譜など, 情報量が多く, 自分がどこに注目したらよいか混乱しやすい		⇒拡大楽譜などを用いて声部を色分けする ⇒リズムや旋律を部分的に取り出し, カードにするなど, 視覚的に情報を整理する

【 図画工作 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●変化を見分けたり, 微妙な違いを感じ取ったりすることが難しい	※造形的な特徴を理解し, 技能を習得できるように	⇒児童の経験や実態を考慮して, 特徴が分かりやすいものを例示する ⇒多様な材料や用具を用意したり, 種類や数を絞ったりする
●形や色などの特徴を捉えることや, 自分のイメージをもつことが難しい	※形や色などに気付くことや自分のイメージをもつことのきっかけを得られるように	⇒自分や友人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定する

【 家庭 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●学習に集中したり, 持続したりすることが難しい	※落ち着いて学習できるように	⇒道具や材料を必要最小限に抑えて準備する ⇒整理・整頓された学習環境で学習できるように工夫する
●活動への関心をもつことが難しい		⇒約束や注意点, 手順等を視覚的に捉えられる掲示物やカードを明示する ⇒体感できる教材・教具を活用し, 関

		心を高める
●周囲の状況に気が散りやすく、包丁、アイロン、ミシンなどの用具を安全に使用することが難しい	※手元に集中して安全に作業に取り組めるように	⇒個別の対応ができるような作業スペースや作業時間を確保する

【 体 育 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●複雑な動きをしたり、バランスを取ったりすることに困難	※極度の不器用さや動きを組み立てることへの苦手さがあることが考えられるように	⇒動きを細分化して指導する ⇒適切に補助しながら行ったりするなどの配慮をする
●勝ち負けにこだわったり、負けた際に感情を抑えられなかったりする	※見通しがもてなかったり、考えたことや思ったことをすぐに行動に移してしまったりすることがあるため	⇒活動の見通しを立ててから活動させる ⇒勝ったときや負けたときの表現の仕方を事前に確認する

【 外国語活動 ・ 外国語 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●音声を聞き取ることが難しい	※外国語と日本語の音声やリズムの違いに気付くことができるように ※本時の流れが分かるように	⇒リズムやイントネーションを、教員が手拍子を打つ ⇒音の強弱を手を上下に動かして表す ⇒本時の活動の流れを黒板に記載する
●文字数が多い単語や、文などの文字情報になると、読む手掛かりをつかんだり、細部に注意を向けたりするのが難しい	※語のまとまりや文の構成を見て捉えやすくできるように	⇒外国語の文字を提示する際に字体をそろえる ⇒線上に文字を書く ⇒語彙・表現などを記したカードなどを黒板に貼る際には、貼る位置や順番などに配慮する

【 総合的な学習の時間 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●様々な事象を調べたり、得られた情	※必要な事象や情報を選択して整理できるように	⇒着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に

報をまとめたりすることに困難		提示する
●関心のある事柄を広げることが難しい	※関心のもてる範囲をひろげることができるように	⇒現在の関心事を核にして、それと関連する具体的な内容を示していく
●様々な情報の中から、必要な事柄を選択して比べることが難しい	※具体的なイメージをもって比較することができるように	⇒比べる視点の焦点を明確にする ⇒より具体化して提示したりする
●学習の振り返りが難しい	※学習してきた場면을早期しやすいように	⇒学習してきた内容を文章やイラスト、写真等で視覚的に示す ⇒思い出すための手掛かりが得られるように配慮する
●人前で話すことへの不安から自分の考えなどを発表することが難しい	※安心して発表できるように ※その紙面を見ながら発表できるようにする	⇒発表する内容について紙面に整理する ⇒ICT機器を活用したりするなど、児童の表現を支援するための手立てを工夫する

【 特別活動 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●相手の気持ちを察したり理解することが苦手	※他者の心情等を理解できるように	⇒役割を交代して相手の気持ちを考える ⇒相手の意図を理解しやすい場面に置き換える ⇒イラスト等を活用して視覚的に表したりする指導を取り入れる
●話を最後まで聞いて答えることが苦手	※発言するタイミングが理解できるように	⇒事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝える ⇒コミュニケーションの回り方についての指導をする
●学校行事における避難訓練等の参加に対し、強い不安を抱いたり戸惑ったりする	※見通しがもてるように	⇒各活動や学校行事のねらいや活動の内容、役割(得意なこと)の分担などについて、視覚化したり、理解しやすい方法を用いたりして事前指導を行う ⇒周囲の児童に協力を依頼しておく

【 生活 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●言葉での説明や	※説明の指示の意味を理解	⇒体験的な事前学習を行う

指示だけでは、安全に気を付けることが難しい	し、なぜ危険なのかをイメージできるように	
●みんなで使うもの等を大切に扱うことが難しい	※大切に扱うことの意義や他者の思いを理解できるように	⇒学習場面に即して、児童の生活経験等も踏まえながら具体的に教える
●自分の経験を文章にしたり、考えをまとめたりすることが困難	※児童がどのように考えればよいのか、具体的なイメージを想起しやすいように	⇒考える項目や順序を示したプリントを準備する ⇒事前に自分の考えたことを言葉や動作で表現する ⇒文章に書く
●学習の振り返りの場面において学習内容の想起が難しい	※学習経験を思い出しやすいように	⇒学習経過などの分かる文章や写真や写真、イラスト等を活用する

【 特別の教科 道徳 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●他者との社会的関係の形成に困難	※相手の気持ちを想像することが苦手で字義通りの解釈をしてしまうことがあることや、暗黙のルールや一般的な常識が理解できないことがあることなど困難さの状況を十分に理解した上で、他者の心情を理解するために	⇒役割を交代して動作化、劇化する ⇒ルールを明文化する ⇒学習過程において想定される困難とそれに対する指導上の工夫が必要である

〈 中学校 〉

【 国語 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●自分の立場以外の視点で考えたり他者の感情を理解したりするのが困難	※文章に表れている心情やその変化等が分かるように	⇒生徒が身近に感じられる文章(例えば、同年代の主人公の物語など)を取り上げ、行動の描写や会話文に含まれている気持ちがよく伝わってくる語句等に気付かせる ⇒心情の移り変わりが分かる文章の中のキーワードを示す ⇒心情の変化を図や矢印などで視覚的に分かるように示してから言葉で表現させる

●比較的長い文章を書くなど、一定量の文字を書くことが困難	※文字を書く負担を軽減するように	⇒手書きだけではなくICT機器を使って文章を書くことができるようにする
●声を出して発表することが困難 ●人前で話すことへの不安を抱いている	※自分の考えを表すことに対する自信がもてるように	⇒紙やホワイトボードに書いたものを提示する ⇒ICT機器を活用したりして発表する ⇒多様な表現方法が選択できるように工夫する

【 社 会 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●地図等の資料から必要な情報を見付け出したり、読み取ったりすることが困難	※掲載されている情報を精選し、視点を明確にできるように ※読み取りやすいように	⇒地図等の情報を拡大する ⇒見る範囲を限定する
●社会的事象等に興味・関心がもてない	※社会的事象等の意味を理解しやすいように ※社会の動きと身近な生活がつながっていることを実感できるように ※安心して学習できるように	⇒特別活動などとの関連付けなどを通して、実際的な体験を取り入れる ⇒学習の順序を分かりやすく説明する
●学習過程における動機付けの場面において学習上の課題を見いだすことが難しい	※社会的事象等を読み取りやすいように	⇒写真などの資料や発問を工夫する
●方向付けの場面において、予想を立てることが困難	※見通しがもてるように ※学習順序を考えられるように	⇒ヒントになる事実をカード等に整理して示す
●情報収集や考察、まとめの場面において、どの観点で考えるのか難しい		⇒ヒントが記入されているワークシートを作成する

【 数 学 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●文章を読み取り、数量の関係を文字式を用いて表すことが難しい	※生徒が数量の関係をイメージできるように ※解決に必要な情報に注目できるように	⇒生徒の経験に基づいた場面や興味のある題材を取り上げる ⇒印を付けさせたり、場면을図式化したりする
●空間図形のもつ性質を理解することが難しい	※空間における直線や平面の位置関係をイメージできるように	⇒立体模型で特徴のある部分を触らせる ⇒言葉でその特徴を説明したり、見取図や投影図と見比べて位置関係を把握したりする

【 理 科 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●実験を行う活動において、実験の手順や方法を理解することが困難	※見通しがもてるように	⇒実験の操作手順を具体的に明示する ⇒扱いやすい実験器具を用いる
●燃烧実験のように危険を伴う学習活動		⇒教師が確実に様子を把握できる場所で活動させる

【 音 楽 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●音楽を形づくっている要素(音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成など)を知覚することが難しい	※要素に着目しやすくできるように ※動作化する際は、決められた動きのパターンを習得するような活動にならないよう留意する	⇒音楽に合わせて一緒に拍を打ったり体を動かしたりする ⇒要素の表れ方を視覚化、動作化する
●音楽を聴くことによって自分の内面に生まれる様々なイメージや感情を言語化することが難しい	※表現したい言葉を思い出すきっかけとなるように	⇒イメージや感情を表す形容詞などのキーワードを示し、選択できるようにする

【 美術 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●形や色彩などの変化を見分けたり、微妙な変化を感じ取ったりすることが難しい	※一人一人が自分に合ったものが選べるように	⇒生徒の実態やこれまでの経験に応じて、造形の要素の特徴や働きがわかりやすいものを例示する ⇒多様な材料や用具を用意する ⇒種類や数を絞ったり、造形の要素の特徴や働きがわかりやすいものを例示する
●造形的な特徴などからイメージを捉えることが難しい	※形や色などに対する気付きや豊かなイメージにつながるように	⇒自分や他の人の感じたことや考えたことを言葉にする場を設定する
	※表現及び鑑賞の活動を通して、一人一人の生徒が感性や想像力などを働かせて、対象や事象の様々なことを感じ取り考えながら、自分としての意味や価値をつくりだし、美術の創造活動の喜びを味わえるように	⇒互いの表現のよさや個性などを認め尊重し合う活動を重視する ⇒表現及び鑑賞に関する資質・能力を育成する観点から、一人一人の状況や発達の特性に配慮し、個に応じた学習を充実させていく

【 技術 ・ 家庭科 】(例)

困 難 さ	指導の工夫の意図	手 立 て
●技術分野で「A材料と加工の技術」の(2)において、周囲の状況に気が散りやすく、加工用の工具や機器を安全に使用することが難しい	※障害の状態に応じて、手元に集中して安全に作業に取り組めるように	⇒個別の対応ができるような作業スペースや作業時間を確保する ⇒作業を補助するジグを用いる
●「D情報の技術」の(2)及び(3)において、新たなプログラムを設計することが難しい	※生徒が考えやすいように ※一部を自分なりに改良できるように	⇒教師があらかじめ用意した幾つかの見本となるプログラムをデータとして準備する ⇒難易度の調整や段階的な指導する
●家庭分野では、「B衣食住の生活」の(3)及び(5)において、調理や製作な	※随時生徒が視覚的に確認できるように ※安全への配慮を徹底するために	⇒個に応じて段階的に手順を写真やイラストで提示する ⇒実習中の約束事を決める

どの実習を行う際、学習活動の見通しをもったり、安全に用具等を使用したりすることが難しい		
●グループで活動することが難しい	※役割が実行できたかを振り返ることができるように	⇒他の生徒と協力する具体的な内容を明確にする ⇒役割分担する

【 保健体育 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●見えにくさのため活動に制限がある場合	※不安を軽減したり安全に実施したりすることができるように	⇒方法を事前に決めたり、音が出る用具を使用したりする ⇒活動場所や動きを事前に確認する ⇒仲間同士で声を掛け合う
●身体の動きに制約があり、活動に制限がある場合	※生徒の実情に応じて仲間と積極的に活動できるように	⇒用具やルールの変更を行ったり、それらの変更について仲間と話し合ったりする活動を行う ⇒必要に応じて補助用具の活用を図る
●リズムやタイミングに合わせて動くことや複雑な動きをすることや、ボールや用具の操作が難しい	※動きを理解したり、自ら積極的に動いたりすることができるように	⇒動きを視覚的又は言語情報に変更したり簡素化したりして提示する ⇒操作が易しい用具の使用や用具の大きさを工夫したりする
●試合や記録測定、発表などの状況の変化への対応が求められる学習活動への参加が難しい	※生徒の実情に応じて状況の変化に対応できるように	⇒挑戦することを認め合う雰囲気づくりに配慮する ⇒ルールの弾力化や場面設定の簡略化を図る
●日常生活とは異なる環境での活動が難しい	※不安を解消できるように	⇒学習の順序や具体的な内容を段階的に説明するなどの配慮をする
●対人関係への不安が強く、他者の体に直接触れることが難しい	※仲間とともに活動することができるように	⇒ロープやタオルなどの補助用具を用いる

●自分の力をコントロールすることが難しい	※状況に応じて力のコントロールができるように	⇒力の出し方を視覚化する ⇒力の入れ方を数値化する
●勝ち負けや記録にこだわり過ぎて、感情をコントロールすることが難しい	※状況に応じて感情がコントロールできるように	⇒事前に活動の見通しを立てる ⇒勝ったときや負けたとき等の感情の表し方について確認する
●グループでの準備や役割分担が難しい	※準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるように	⇒準備や役割分担を視覚的に明示する ⇒生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませる
●保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい	※実習の手順や方法が理解できるように	⇒それらを視覚的に示す ⇒一つ一つの技能を個別に指導する

【 外国語 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●英語の語には、発音と綴りの関係に必ずしも規則性があるとは限らないものが多いため、明確な規則にこだわって強い不安や抵抗感を抱いてしまう	※ねらいに沿って安心して取り組めるように ※安心して発音できるように	⇒語を書いたり発音したりすることをねらう活動ではその場で発音することを求めない ⇒似た規則の語を選んで扱う

【 総合的な学習の時間 】(例)

困難さ	指導の工夫の意図	手立て
●様々な事象を調べたり、得られた情報をまとめたりすることに困難	※必要な事象や情報を選択して整理できるように	⇒着目する点や調べる内容、まとめる手順や調べ方について具体的に提示する
●関心のある事柄を広げることが難しい	※関心のもてる範囲をひろげることができるように	⇒現在の関心事を核にして、それと関連する具体的な内容を示していく

●様々な情報の中から、必要な事柄を選択して比べることが難しい	※具体的なイメージをもって比較することができるように	⇒比べる視点の焦点を明確にする ⇒より具体化して提示したりする
●学習の振り返りが難しい	※学習してきた場면을早期しやすいように	⇒学習してきた内容を文章やイラスト、写真等で視覚的に示す ⇒思い出すための手掛かりが得られるように配慮する
●人前で話すことへの不安から自分の考えなどを発表することが難しい	※安心して発表できるように ※その紙面を見ながら発表できるようにする	⇒発表する内容について紙面に整理する ⇒ICT機器を活用したりするなど、児童の表現を支援するための手立てを工夫する

【 特別活動 】

困 難 さ	指導の工夫の意図	手立て
●相手の気持ちを察したり理解することが苦手	※他者の心情等を理解しやすいように	⇒役割を交代して相手の気持ちを考える ⇒相手の意図を理解しやすい場面に置き換える ⇒イラスト等を活用して視覚的に表したりする指導を取り入れる
●話を最後まで聞いて答えることが苦手	※発言するタイミングが理解できるように	⇒事前に発言や質問する際のタイミングなどについて具体的に伝える ⇒コミュニケーションの図り方についての指導をする。
●避難訓練等の参加に対し、強い不安を抱いたり戸惑ったりする	※見通しがもてるように	⇒各活動や学校行事のねらいや活動の内容、役割(得意なこと)の分担などについて、視覚化する ⇒理解しやすい方法を用いたりして事前指導を行う ⇒周囲の生徒に協力を依頼しておく

【 特別の教科 道徳 】

困 難 さ	指導の工夫の意図	手立て
<ul style="list-style-type: none"> ●発達障害等のある生徒や海外から帰国した生徒，日本語習得に困難 ●他者との社会的関係の形成に困難 ●相手の気持ちを想像することが苦手 で字義通りの解釈をしてしまう 	※暗黙のルールや一般的な常識が理解できないことがあることなど困難さの状況を十分に理解した上で，他者の心情を理解するために	⇒役割を交代して動作化する ⇒劇化，ルールの明文化など，学習過程において想定される困難さに対する指導上の工夫をする

これらの手立ては，教科等の枠を超えて参考になるものが多く，教科を担当する教師は，自分の担当教科以外の手立てにも目を通しておくことで障害の有無にかかわらず，学習に困難を抱えている児童生徒への授業のヒントになると考えられます。ぜひ，全ての手立てに目を通してみてください。

ただ，これらはいくまで例示です。生徒一人一人の障害の状態，特性や心身の発達段階，学習の状況，学級集団の雰囲気や踏まえ，困難さの実態把握をし，手立てを考え工夫し，適切かつ臨機応変に対応することが必要です。

また，指導案や個別の指導計画等の作成をし，全ての教師が手立てを共有し，手立てが適切かどうかの検討をPDCAサイクルによって見直すことが重要です。

<参考資料>

○平成 29 年 7 月 文部科学省 小学校学習指導要領（各教科編より抜粋）

○平成 29 年 7 月 文部科学省 中学校学習指導要領（各教科編より抜粋）

○平成 31 年 No.73 春 特別支援教育 東洋館